

このコーナーは、地元を離れ

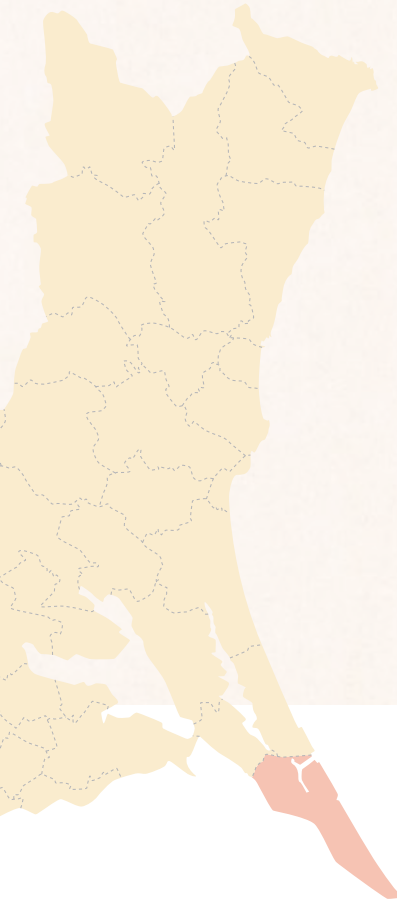
奈良で生活している学生さんたちに、奈良に来てみての感想や、ふるさとの自慢話を紹介してもらおうというものです。

今回は、3回生の井上清香さんに答えていただきました。

茨城県
神栖市

井上清香
社会科教育専修
3回生

いばらきけん
かみすし



インタビュー内容

- ① 奈良のすきなところ
- ② 奈良に来て驚いたこと（地元にはないもの・こと）
- ③ ふるさと紹介
- ④ ふるさとの自慢できること
- ⑤ ふるさとの観光地、おすすめスポット
- ⑥ ふるさとの名物料理・土産



- ① ほど良い素朴さと便利さを兼ね備えているところです。地元で鉄道がなかった私にとって、日常的に電車を使えることは衝撃的でした。しかし、自然が豊かで歴史を感じさせる街並みがあり、心がほっと落ち着きます。星が綺麗に見えるところも好きです。
- ② 大学内や家から大学までの路地で鹿に会う時があることです。奈良公園周辺には小さいころからよく行っていたのでその光景には慣れていましたが、日常生活で出会うことがあるとは思っていませんでした。
- ③ 神栖市は茨城県の東南端に位置しており、東側は太平洋に、南側・西側は利根川を経て千葉県に接しています。神栖市の北部から東部一帯は、鹿島港及び鹿島臨海工業地帯が整備されています。工業地帯が整備されていることもあり、人口は約95,000人と少し多目です。また、南部は波崎漁港を中心に漁業が盛んで、水産加工品などが特産品となっており、農・商業を含めた各産業がバランス良く形成されています。ちなみに、鉄道は貨物しかなく、地域内のバスもほとんどないため自動車が必要ですが、東京駅へは高速バスでつながっています。
- ④ 鹿島臨海工業地帯の要である、鹿島港です。鹿島港は世界でも珍しい掘り込み式の人口湾で、Y字型に掘り込まれています。港に行き来する貿易船を小さいころからよく見ていて、壮大で不思議な気持ちを抱いたのを覚えています。また、海からの日の出や夕日が綺麗に見えます。また、Jリーグの鹿島アントラーズのホームタウンであることは、市民の誇りです。特別都会でも田舎でもなく、特徴がないと思われがちですが、探してみると面白いものがたくさんあり、そんなところも魅力の一つです。
- ⑤ 港公園は鹿島臨海工業地帯の中心地にあり、52メートルの展望塔からは港や工業地帯が一望でき、初日の出も楽しめます。展望塔は神栖市のシンボルです。また、息栖神社は、香取神宮、鹿島神宮とともに東国三社の一つに数えられ、由緒ある神社です。ほかの二社は武人が祭られているのに対し、息栖神社は交通守護の神様が祭られています。
- ⑥ ピーマンは作付面積が全国第1位で、温暖な神栖の気候に合ったピーマンは全国に出荷されています。茨城県＝納豆というイメージを抱かれがちですが、神栖では納豆は生産されていません。でも、納豆は大好きです。また、千葉県銚子市に隣接しているため、新鮮な魚が食べられます。漁師料理の一つである「なめろう」や「ごさい漬け」は、県外の方にぜひ食べていただきたいです。文章で説明するのは難しいので、ネットで検索してみてくださいね。

【方言】

神栖市は、古くから千葉県の銚子市や香取市(旧佐原市・小見川町の地域)と交流があったため、言葉もそちらと似ています。水戸市などで話されている茨城弁とは少し異なります。

- 【青なじみ】…青あざのこと。
- 【ごじゃっぺ】…いい加減、でたらめ。
- 【線引き】…ものさしのこと。
- 【でれすけ】…怠け者
- 【こわい】…疲れた。
- 【～あんめ】…～なわけないだろう

1. 港公園
2. ピーマン
3. 息栖神社

